

## 第VI章 調査票



---

## 男女共同参画に関する男性の意識・実態調査 アンケート調査票

---

平成23年11月

**【ご記入にあたってのお願い】**

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ◎ この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。
- ◎ この調査には、あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- ◎ 調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、**個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ございません。**

- ◆ あて名のご本人がお答えください。
- ◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。  
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、( )内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆ お答えは、設問ごとに(○は1つ)(○は2つまで)など指定されていますので、お間違えのないようお気を付けください。
- ◆ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。
- ◆ ご記入いただいた調査票は、**12月16日(金)**までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

本調査についてのご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

埼玉県県民生活部男女共同参画課 担当：田村・川口  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1  
TEL：048-830-2921（直通） FAX：048-830-4755  
E-mail：a2920@pref.saitama.lg.jp

■ 男女平等に関する意識について

問1 次にあげる7つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。（それぞれについて該当する「1～4」に○を1つ）

	いる 平等 になって	いない 平等 になって	え ない どちらとも い	わ から ない
回答例 -----▶	1	2	(3)	4
ア. 家庭	1	2	3	4
イ. 教育	1	2	3	4
ウ. 職場	1	2	3	4
エ. 政治	1	2	3	4
オ. 地域活動の場	1	2	3	4
カ. 社会通念や風潮	1	2	3	4
キ. 法律や制度	1	2	3	4

問2 女性に関することで、人権問題として早期に解決すべきだと思われるものはどのようなことですか。（○は5つまで）

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女の性別による固定的な役割分担意識（「男は仕事・女は家庭」など）</li> <li>2. 男女平等教育の遅れ</li> <li>3. 昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い</li> <li>4. 女性の就職・再就職のための支援体制の不備</li> <li>5. 配偶者・恋人からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）</li> <li>6. セクシュアル・ハラスメント</li> <li>7. ストーカー行為</li> <li>8. 痴漢行為・レイプ等の性犯罪</li> <li>9. 売春・買春・援助交際</li> <li>10. 人身取引</li> <li>11. 結婚にともなう改姓</li> <li>12. その他（</li> <li>13. 特にない</li> </ol> | ) |
|--|---|

■ 家庭生活について

問3 あなたのふだん（平日と休日）の生活時間についてうかがいます。以下の活動について、一日に費やす時間はどのくらいですか。（それぞれについて該当する「1～8」に○を1つ）

	上段 〈平日〉	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上	全くない・該当しない
	下段 〈休日〉								
回答例 ----->	〈平日〉	1	2	3	④	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	⑤	6	7	8
ア. 家事全般	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
イ. 育児・子育て	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ. 介護	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
エ. 収入を得る仕事	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
オ. 家族と一緒に過ごす時間	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
カ. 地域活動やボランティアに費やす時間	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
キ. 余暇や娯楽	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8

問4 それでは、あなたの理想はいかがですか。以下の活動について、一日に費やす望ましい時間はどのくらいですか。（それぞれについて該当する「1～8」に○を1つ）

	上段 〈平日〉	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上	全くない・該当しない
	下段 〈休日〉								
回答例	〈平日〉	1	2	3	④	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	⑤	6	7	8
ア. 家事全般	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
イ. 育児・子育て	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ. 介護	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
エ. 収入を得る仕事	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
オ. 家族と一緒に過ごす時間	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
カ. 地域活動やボランティアに費やす時間	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
キ. 余暇や娯楽	〈平日〉	1	2	3	4	5	6	7	8
	〈休日〉	1	2	3	4	5	6	7	8

問5～10は「ア. 家事全般」「イ. 育児」「ウ. 介護」について、かかわりが十分かどうかうかがいます。「育児」「介護」については、子育て、介護経験のある方のみお答えください。

「ア. 家事全般」について

問5 「家事全般」について、かかわりは十分だと思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |          |
|---------------|--------------|----------|
| 1. 十分である      | 3. あまり十分ではない | 5. 全くしない |
| 2. ある程度は十分である | 4. 十分でない     |          |

(問5で「3. あまり十分ではない」「4. 十分でない」とお答えの方にはうかがいます)

問5-1 「家事全般」へのかかわりが十分でないのは何か原因があると思いますか。(〇は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 仕事が忙しすぎる<br>2. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にするため<br>3. 家庭のことに興味がないため<br>4. 家事が面倒だから<br>5. 家事の大切さを理解していないため<br>6. 家事に関する知識や経験が足りないから<br>7. 配偶者が家事をすることを好むから<br>8. 配偶者以外の家族が家事をすることを好むから<br>9. その他( ) |
|--|

問6 あなたは男性が炊事・洗濯・掃除などの家事に参加するために、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 妻(パートナー)の助け<br>2. 家族(親や子どもなど)の助け<br>3. 近隣の助け<br>4. 地域サークルやボランティアの助け<br>5. 男性が家事をすることに対する職場の理解と支援制度<br>6. 家事に関する情報・教育機会の充実(料理教室のセミナーなど)<br>7. その他( )<br>8. 特にない |
|---|

「イ. 育児」について

(子育て経験のある方にうかがいます)

問7 「育児」について、かかわりは十分だと思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |          |
|---------------|--------------|----------|
| 1. 十分である      | 3. あまり十分ではない | 5. 全くしない |
| 2. ある程度は十分である | 4. 十分でない     |          |

(問7で「3. あまり十分ではない」「4. 十分でない」とお答えの方にはうかがいます)

問7-1 「育児」へのかかわりが十分でないのは何か原因があると思いますか。(〇は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 仕事が忙しすぎる<br>2. 育児休業制度が不十分または利用しにくい<br>3. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にするため<br>4. 子どものことや家庭のことに興味がないため<br>5. 子どもの世話が面倒だと考えているため<br>6. 子育ての大変さを理解していないため<br>7. 子どもとどのように接したらよいかわからないため<br>8. 子育てに関する知識や情報が乏しいため<br>9. その他( ) |
|---|

問8 あなたは男性が育児に参加するために、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 妻（パートナー）の助け<br>2. 家族（親や子どもなど）の助け<br>3. 近隣の助け<br>4. 地域サークルやボランティアの助け<br>5. 男性が育児をすることに對する職場の理解と支援制度（労働時間の短縮・育児休業取得促進等）<br>6. 保育所やベビーシッターなどの充実<br>7. 育児に関する情報提供、講座やセミナーの充実<br>8. 行政からの具体的支援（企業への働きかけ・金銭的支援等）<br>9. その他（<br>10. 特にない | ) |
|--|---|

「ウ. 介護」について

（家族に介護の必要な方がいる方のみにかがいます）

問9 「介護」について、かかわりは十分だと思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |          |
|---------------|--------------|----------|
| 1. 十分である      | 3. あまり十分ではない | 5. 全くしない |
| 2. ある程度は十分である | 4. 十分でない     |          |

（問9で「3. あまり十分ではない」「4. 十分でない」とお答えの方にかがいます）

問9-1 「介護」へのかかわりが十分でないのは何か原因があると思いますか。(〇は3つまで)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 仕事が忙しすぎる<br>2. 介護休業制度が不十分または利用しにくい<br>3. 趣味や自分の個人的な楽しみの方を大切にするため<br>4. 要介護者や家庭のことに興味がないため<br>5. 介護が面倒だと考えているため<br>6. 介護される側が男性より女性の介護を望むから<br>7. 介護に関する知識や情報が乏しいため<br>8. その他（ | ) |
|--|---|

問10 あなたは男性が介護に参加するために、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 妻（パートナー）の助け<br>2. 家族（親や子どもなど）の助け<br>3. 近隣の助け<br>4. 地域サークルやボランティアの助け<br>5. 男性が介護をすることに對する職場の理解と支援制度（労働時間の短縮・介護休業取得促進等）<br>6. 介護サービスの充実<br>7. 介護に関する情報提供、講座やセミナーの充実<br>8. 行政からの具体的支援（企業への働きかけ・金銭的支援等）<br>9. その他（<br>10. 特にない | ) |
|---|---|

再びすべての方に向かっていきます。

問11 あなたが希望する妻の働き方は何ですか。(○は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
4. 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
5. 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する
6. 仕事は持たない
7. その他 ( )
8. わからない

(問11で「1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」「2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」「3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」とお答えの方に向かっていきます)

問11-1 仕事を続けてほしい、または子育てしながら働いてほしいを選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 今までの生活レベルを下げたくない
2. 二人の収入がないと生活が苦しい
3. 妻が仕事をしていると自分との話が合う
4. 妻の自己実現をサポートしたいから
5. 結婚しても女性が働くことは当たり前だから
6. その他 ( )

(問11で「1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」「2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」「3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」とお答えの方に向かっていきます)

問11-2 もし、あなたひとりの収入で家計をまかなうことができる場合、あなたが希望する妻の働き方は何ですか。(○は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
4. 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
5. 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する
6. 仕事は持たない
7. その他 ( )
8. わからない



## ■ 職場について

問12、問12-1はご自身に高校生以下の子どもがいる方にうかがいます。

問12 あなたは子どもが生まれたとき、育児休業を取得したいと思われましたか。(〇は1つ)

1. 思ったので取得した    2. 思ったが取得しなかった    3. 思わなかった

(問12で「2. 思ったが取得しなかった」、または「3. 思わなかった」とお答えの方にうかがいます)

問12-1 取得しなかった、または思わなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思ったから
2. 仕事が忙しく取得できる状況になかったから
3. 取得しにくい雰囲気職場にあったから
4. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思ったから
5. 昇任や評価等に影響すると思ったから
6. 上司の理解が得られそうになかったから
7. 制度を利用できると知らなかったから
8. 仕事にやりがいを感じていたから
9. 取得すると経済的に苦しくなると思ったから
10. 自分以外に育児に専念する人がいたから
11. パートナーの方が子育てに適していると思ったから
12. 家族に反対されたから
13. その他 ( )

再びすべての方にうかがいます。

問13 今、あなたに子どもが生まれたとしたら、育児休業を取得したいと思いますか。生まれたと仮定してお答えください。(〇は1つ)

1. 取得したい    2. 取得したいと思うが、取得しない    3. 取得しない

(問13で「2. 取得したいと思うが、取得しない」、または「3. 取得しない」とお答えの方にうかがいます)

問13-1 取得しない理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから
2. 仕事が忙しく取得できる状況にないから
3. 取得しにくい雰囲気が職場にあるから
4. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思うから
5. 昇任や評価等に影響すると思うから
6. 上司の理解が得られそうにないから
7. 制度を利用できるかわからないから
8. 仕事にやりがいを感じているから
9. 取得すると経済的に苦しくなると思うから
10. 自分以外に育児に専念する人がいるから
11. パートナーの方が子育てに適していると思うから
12. 家族に反対されるから
13. その他 ( )

問14 あなたの職場で男女を問わず育児休業を取得しようとする人がいたとしたら、どう思いますか。(〇は1つ)

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 積極的に取得してほしい                 |  |
| 2. どちらかといえば、取得した方がよい           |  |
| 3. 業務への影響などを考えると、できれば取得しないでほしい |  |
| 4. 取得しないでほしい                   |  |
| 5. その他 ( )                     |  |
| 6. わからない                       |  |

問15 あなたの職場で育児休業を取得しようとする人がいたとしたら、性別によってどう思いますか。(〇は1つ)

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 1. 男性も女性も取得してほしい                  |  |
| 2. 女性は取得した方がよいが、男性が取得することには違和感がある |  |
| 3. 男性は取得した方がよいが、女性が取得することには違和感がある |  |
| 4. 男性も女性も取得しないでほしい                |  |
| 5. その他 ( )                        |  |
| 6. わからない                          |  |

問16 男性が育児休業を取得しやすくするためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 代替要員の確保                                  |  |
| 2. 事務の見直し等による業務全体の削減                        |  |
| 3. 誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備                |  |
| 4. 取得前から復帰後までの支援の充実                         |  |
| 5. 各種支援制度の周知や取得に向けた啓発                       |  |
| 6. 男性は仕事、女性は家庭といった性別による役割分担意識の払しょく等、社員の意識改革 |  |
| 7. 経済的な支援の充実                                |  |
| 8. 子育て支援制度の拡充                               |  |
| 9. その他 ( )                                  |  |
| 10. わからない                                   |  |

問17 今、あなたに家族等の介護をする必要が生じたら、介護休業を取得したいと思いますか。介護をすると仮定してお答えください。(○は1つ)

1. 取得したい	2. 取得したいと思うが、取得しない	3. 取得しない
----------	--------------------	----------

(問17で「2. 取得したいと思うが、取得しない」、または「3. 取得しない」とお答えの方にはうかがいます)

問17-1 取得しない理由は何ですか。(○は3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから</li> <li>2. 仕事が忙しく取得できる状況にないから</li> <li>3. 取得しにくい雰囲気職場にあるから</li> <li>4. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思うから</li> <li>5. 昇任や評価等に影響すると思うから</li> <li>6. 上司の理解が得られそうにないから</li> <li>7. 制度を利用できるかわからないから</li> <li>8. 仕事にやりがいを感じているから</li> <li>9. 取得すると経済的に苦しくなると思うから</li> <li>10. 自分以外に介護に専念する人がいるから</li> <li>11. パートナーの方が介護に適していると思うから</li> <li>12. 家族に反対されるから</li> <li>13. その他 ( )</li> </ul>
--

問18 男性が介護休業を取得しやすくするためには、何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 代替要員の確保</li> <li>2. 事務の見直し等による業務全体の削減</li> <li>3. 誰もがバランスのとれた働き方をする風土や環境の整備</li> <li>4. 取得前から復帰後までの支援の充実</li> <li>5. 各種支援制度の周知や取得に向けた啓発</li> <li>6. 男性は仕事、女性は家庭といった性別による役割分担意識の払しょく等、社員の意識改革</li> <li>7. 経済的な支援の充実</li> <li>8. 介護支援制度の拡充</li> <li>9. その他 ( )</li> <li>10. わからない</li> </ul>
--

■ 地域活動について

問19 あなたは地域活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 積極的に参加したい     | 3. どちらかといえば参加したくない |
| 2. どちらかといえば参加したい | 4. 参加したくない         |
|                  | 5. わからない           |

(問19で「3. どちらかといえば参加したくない」「4. 参加したくない」とお答えの方にかがいます)

問19-1 参加したくない理由は何ですか。(○は3つまで)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 活動する時間がないから                  |
| 2. 活動に興味を持てないから                 |
| 3. 参加するきっかけが得られないから             |
| 4. 身近な団体や活動内容に関する情報がないから        |
| 5. 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がないから |
| 6. 身近に一緒に参加できる人がいないから           |
| 7. 活動によって得られるメリットがないから          |
| 8. 家族や職場の理解が得られないから             |
| 9. その他( )                       |

問20 地域活動などへの参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 地域活動などへの参加を進めるための啓発活動をする          |
| 2. 地域活動などへの参加ができるような学習や訓練の機会を増やす     |
| 3. 家庭で親などが地域活動などへの重要性を教える            |
| 4. 学校で地域活動などへの参加の重要性を教える             |
| 5. 家庭での役割を、もっと家族に担ってもらう              |
| 6. 労働時間を短くして自由に使える時間を増やす             |
| 7. 男性も女性も対象に、仕事と子育ての両立を支援する体制の整備をはかる |
| 8. その他( )                            |
| 9. わからない                             |



問23 あなたは「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の調和をはかるために、どのようなことをしていますか。（〇はいくつでも）

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 残業を減らす</li><li>2. 年休をしっかりとる</li><li>3. 効率よく仕事をする</li><li>4. 家族と過ごす時間を大切にする</li><li>5. 自己啓発を進める</li><li>6. 自分の趣味の時間を取る</li><li>7. 地域活動、NPO活動に参加する</li><li>8. その他（</li><li>9. 何もしていない</li></ol> | ） |
|--|---|

■ ウーマノミクスについて

再びすべての方にうかがいます。

問24 近年、ウーマンとエコノミクスを合わせたウーマノミクスという言葉が注目されています。これは、女性が働き手や消費の担い手となり、経済成長や社会の活性化を図るという考え方を意味していますが、このことを知っていましたか。（〇は1つ）

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 名前だけ知っている | 3. 知らない |
|--------------|--------------|---------|

問25 職場で女性を積極的に活用することによって、企業の活動にどのような効果があると思いますか。（〇は3つまで）

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 商品開発やマーケティングに女性独自の視点を取り入れることができる</li><li>2. 企業の人材を有効に活用できる</li><li>3. 企業のイメージアップにつながる</li><li>4. 社員全体の労働意欲が高まる</li><li>5. 顧客のニーズに幅広く対応できるようになる</li><li>6. 会社のなかの競争意識が高まり、組織の活性化につながる</li><li>7. 優秀な人材が確保できる</li><li>8. 人口減少が進むなかで、労働力の確保につながる</li><li>9. その他（</li><li>10. 特にない</li></ol> | ） |
|---|---|

問26 あなたは女性が意欲を持って仕事をするためには、何が必要だと思いますか。（〇は5つまで）

- |   |
|---|
| 1. 職場における女性の管理職への登用<br>2. 職務能力向上のための研修<br>3. 労働時間の短縮<br>4. 育児休業制度の普及・充実<br>5. 介護休業制度の普及・充実<br>6. 休暇制度の充実<br>7. 福利厚生の実施<br>8. 学童保育・延長保育・夜間保育・病児保育等の保育サービスの充実<br>9. 介護などのための公共サービスの充実<br>10. 夫やパートナーの理解・協力<br>11. 父母や親族の理解・協力<br>12. 地域の協力・支援<br>13. 働くことに関する相談窓口の実施<br>14. 職場における賃金の男女平等の徹底<br>15. 女性自身の職業意識の向上<br>16. その他<br>17. 特になし |
|---|

## ■ 施策への要望

問27 あなたは男性も女性も、ともに社会のあらゆる分野にバランスよく積極的に参加していくために「ア. 個人・家庭」「イ. 行政」「ウ. 企業」において、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。

「ア. 個人・家庭」

問27-1 「個人・家庭」で取り組む必要のあること。（〇は3つまで）

- |   |   |
|---|---|
| 1. 女性が働くことに対する理解を深める<br>2. 家事や育児を行うことについてもっと評価する<br>3. 女性自身が「男は仕事・女は家庭」という考えにとらわれないようになる<br>4. 男性自身が仕事中心の生き方、考え方にとらわれないようになる<br>5. 家事や育児を家族で協力して担う<br>6. 日ごろから気軽に助け合えるような関係を近隣の人々とつくる<br>7. その他（<br>8. 特になし | ） |
|---|---|

「イ. 行政」

問27-2 「行政」で取り組む必要のあること。(○は5つまで)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 行政や企業における政策・方針決定過程への女性の参画促進</li><li>2. 仕事や家事・育児に男女がともに参加する意識を啓発する</li><li>3. 昇進・教育訓練・賃金などの男女格差是正を企業に働きかける</li><li>4. 労働時間の見直しや、柔軟な働き方の整備を企業に働きかける</li><li>5. 保育施設や保育サービスの充実</li><li>6. 女性の就業に関する情報の提供や各種相談体制の整備</li><li>7. 再就職のためのセミナーや職業訓練の提供</li><li>8. 家庭と仕事・地域活動の両立支援</li><li>9. 男女の視点に立った災害時の対応</li><li>10. 性別役割分担意識にとらわれた社会制度や慣行の見直し</li><li>11. 男女平等教育の推進</li><li>12. 配偶者・恋人からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、ストーカーの根絶</li><li>13. 売春・買春の防止対策の充実</li><li>14. 女性に対する健康づくり支援</li><li>15. その他 ( )</li><li>16. 特にない</li></ol> |
|---|

「ウ. 企業」

問27-3 「企業」で取り組む必要のあること。(○は5つまで)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 仕事と家庭の両立に対する経営者の意識改革</li><li>2. 昇進・教育訓練・賃金などの男女格差の是正</li><li>3. 女性を対象とした能力向上のための研修や、責任ある仕事への登用</li><li>4. 結婚や出産を機に退職する風土の改善</li><li>5. 男性が育児休業を取得することを奨励</li><li>6. 短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方の整備・充実</li><li>7. 残業時間の削減</li><li>8. 育児休業中の賃金など経済的援助の充実</li><li>9. 事業所内の託児施設の設置</li><li>10. パート・アルバイトの労働条件の改善</li><li>11. 妊娠・出産・子育てのために退職した従業員の再雇用制度の整備・充実</li><li>12. 仕事と家庭の両立を支援するための相談窓口の設置</li><li>13. セクシュアル・ハラスメント対策の充実</li><li>14. その他 ( )</li><li>15. 特にない</li></ol> |
|--|



## ■ あなたご自身について

F 1 年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20～24 歳	5. 40～44 歳	9. 60～64 歳
2. 25～29 歳	6. 45～49 歳	10. 65～69 歳
3. 30～34 歳	7. 50～54 歳	11. 70 歳以上
4. 35～39 歳	8. 55～59 歳	

F 2 職業をお答えください。(○は1つ)

1. 会社員・団体職員	5. 専業主夫
2. 自由業・自営業・家業	6. 学生
3. パート・アルバイト	7. 無職
4. 公務員・教員	8. その他( )

F 3 あなたの最終学歴をお答えください。中途退学の場合は最後に卒業した学校、在学中の場合は、現在在学している学校をお選びください。(○は1つ)

1. 中学校	4. 短期大学・高等専門学校
2. 高等学校	5. 4年制大学・大学院
3. 専門学校・各種学校	6. その他( )

F 4 結婚(事実婚を含む)されていますか。(○は1つ)

1. 結婚している	2. 結婚していたが、離別・死別した	3. 結婚していない
-----------	--------------------	------------

(F 4で「1. 結婚している」とお答えの方にはうかがいます)

F 5 あなたの配偶者の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20～24 歳	5. 40～44 歳	9. 60～64 歳
2. 25～29 歳	6. 45～49 歳	10. 65～69 歳
3. 30～34 歳	7. 50～54 歳	11. 70 歳以上
4. 35～39 歳	8. 55～59 歳	

(F 4で「1. 結婚している」とお答えの方にはうかがいます)

F 6 あなたの配偶者の職業をお答えください。(○は1つ)

1. 会社員・団体職員	5. 専業主婦
2. 自由業・自営業・家業	6. 学生
3. パート・アルバイト	7. 無職
4. 公務員・教員	8. その他( )

(F 4で「1. 結婚している」とお答えの方にはうかがいます)

F 7 あなたの配偶者の最終学歴をお答えください。中途退学の場合は最後に卒業した学校、在学中の場合は、現在在学している学校をお選びください。(○は1つ)

1. 中学校	4. 短期大学・高等専門学校
2. 高等学校	5. 4年制大学・大学院
3. 専門学校・各種学校	6. その他( )

F 8 あなたには子どもがいますか。(○は1つ)

1. 1人	4. 4人	6. いない
2. 2人	5. 5人以上	
3. 3人		

(F 8で「1. 1人」「2. 2人」「3. 3人」「4. 4人」「5. 5人以上」とお答えの方にかがいます)

F 9 あなたの一番下のお子さんは、現在次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 3歳未満	5. 高校生
2. 3歳以上就学前	6. 大学生・大学院生 (高専・短大・専門学校を含む)
3. 小学生	7. 社会人
4. 中学生	

F 10 あなたの現在の世帯は次のように分けるとどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 単身世帯(1人住まい)	4. 3世代世帯(親+子ども+孫)
2. 1世代世帯(夫婦のみ)	5. その他( )
3. 2世代世帯(親+子ども)	

F 11 あなたの通勤・通学時間は片道どれくらいかかりますか。

時間  分

F 12 あなたの通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ)

1. 県内	2. 県外	3. 通勤・通学していない
-------	-------	---------------

F 13 あなたが現在お住まいの市町村をお答えください。(○は1つ)

例	① 南部地域	川口市、蕨市、戸田市
	1. 南部地域	川口市、蕨市、戸田市
	2. 南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	3. 東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市
	4. さいたま地域	さいたま市
	5. 県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市
	6. 川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、小川町、鳩山町
	7. 西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市
	8. 利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、北川辺町、白岡町、栗橋町、杉戸町
	9. 北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、上里町
	10. 秩父地域	秩父市

最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。


質問は以上です。

長い間アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

